

授業科目等の概要

(医歯薬専門課程 歯科衛生士学科Ⅱ部) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		実務 教員による 授業
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			生物	一般生物学の基礎的事項を習得し、解剖・組織発生・生理学の学習へつなげる。	1前	15	1	○			○			○	
○			化学	一般化学の基礎的事項を習得し、栄養学・生化学の学習へつなげる。	1前	15	1	○			○			○	
○			キャリアデザインⅠ	目的意識を高め、プロに必要なことが何かを認識する。同じ目的を持った仲間との相互支援環境を作る。	1後	15	1		○		○		○		
○			キャリアデザインⅡ	目的意識を高め、プロに必要なことが何かを認識する。同じ目的を持った仲間との相互支援環境を作る。	3後	15	1		○		○		○		
○			医療倫理Ⅰ	医療人として必要な倫理観について理解する。	1前	15	1	○			○			○	○■
○			医療倫理Ⅱ	医療人として必要な倫理観について理解する。	2後	15	1	○			○			○	○
○			コミュニケーション技法	社会人としての基礎の能力である「読む・書く・聞く・話す」能力を取得する事で、主体性とコミュニケーション能力の向上させる。	1前	30	2	○			○			○	○■
○			プレゼンテーション技法	ワード・エクセル・パワーポイントの操作について技術、知識を身につける。	1後	15	1		○		○			○	○
○			歯科英語	社会人・医療人として必要な実用英会話を学びコミュニケーションが取れる力を身につける。	2前	15	1	○			○			○	○
○			解剖学	人体の構造について理解する。	1前	30	2	○			○			○	
○			生理学	人体の諸機能について理解する。	1前	15	1	○			○			○	
○			栄養生化学Ⅰ	歯を中心とした口腔の主要な生化学的变化について理解する。	1前	15	1	○			○			○	

○		歯内療法学	歯の内部やその周囲における疾患の治療方法について理解する	2前	15	1	○			○		○		○
○		歯周治療学	歯周組織における疾患とその予防について学び、治療の概要を理解する。	2前	15	1	○			○		○		○
○		歯科補綴学	歯科補綴治療や歯科技工について学び、治療の流れを理解する。	2前	30	2	○			○		○		○
○		口腔外科学	人体および口腔の諸機能について理解する。	2前	30	2	○			○		○		○
○		小児歯科学	小児の特性を理解し、小児歯科治療の流れを理解する。	2後	30	2	○			○		○		○
○		矯正歯科学	矯正歯科学の基礎知識を理解し、矯正治療の流れを修得する。	2後	30	2	○			○		○		○
○		障がい者歯科学	障害者の特性を理解したうえで、障害者歯科治療の実際を理解する。	3前	15	1	○			○		○		○
○		高齢者歯科学	高齢者の特性を理解したうえで、高齢者歯科治療の実際を理解する。	3前	15	1	○			○		○		○
○		歯科予防処置論	歯科予防処置に必要な基礎知識および予防的歯石除去の方法について理解する。	1前	15	1		○		○		○		○
○		歯科予防処置論実習Ⅰ	歯科予防処置に必要な知識と技術を習得する。	1前	30	1			○	○		○		○
○		歯科予防処置論実習Ⅱ	予防的歯石除去方法について学び、技術を向上させる。	1後	60	2				○	○		○	○
○		歯科予防処置論実習Ⅲ	歯科予防処置に必要な知識と技術を習得する。	2前	30	1				○	○		○	○
○		歯科予防処置論実習Ⅳ	歯科予防処置に必要な知識と技術を習得する。	2後	60	2				○	○		○	○
○		う蝕予防処置論	歯科予防処置に必要な知識と技術を習得する。	2前	15	1		○		○		○		○
○		歯科衛生過程論	保健医療人としての基本を理解し、多様な知識・技術を修得する態度および論理的思考法の基礎を修得する。	2後	15	1		○		○		○		○

○		歯科衛生過程演習	歯科衛生過程に基づき、長期目標・短期目標を立て、患者実習内において実際に患者指導ができるようにする	3前	30	2			○	○	○							○
○		歯科保健指導論Ⅰ	歯科保健指導に必要な知識を習得するとともに、指導に必要な技法を身につける。	1前	15	1			○	○	○							○ ■
○		歯科保健指導論Ⅱ	歯科保健指導に必要な知識を習得するとともに、指導に必要な技法を身につける。	1後	30	2			○	○	○							○
○		歯科保健指導論Ⅲ	歯科保健指導に必要な知識を習得するとともに、指導に必要な技法を身につける。	2前	30	2			○	○	○							○
○		歯科保健指導論Ⅳ	地域歯科保健における健康教育や保健指導の概要を理解し、小集団に対しての指導を出来るようにする	3前	30	2			○	○	○							○
○		栄養指導	栄養素の基礎やヒトの体内での代謝など生命維持に必要な栄養摂取と口腔疾患との関係を学ぶ。	1後	15	1		○		○							○	○
○		歯科診療補助論Ⅰ	【歯科材料学】 主要歯科材料の知識を習得し理解する。	1前	15	1			○	○	○							○ ■
○		歯科診療補助論Ⅱ	歯科診療補助に必要な知識を学び、技術を習得し理解する。	1後	15	1			○	○	○							○
○		歯科診療補助論実習Ⅰ	主要歯科材料の取り扱い方について学び、技術を習得する。	1前	30	1				○	○							○
○		歯科診療補助論実習Ⅱ	概要・器材の基礎知識・診療室の管理・共同動作・滅菌・消毒・患者対応について理解する。	1後	30	1				○	○							○
○		歯科診療補助論実習Ⅲ	歯科診療補助に必要な知識を学び、技術を習得し理解する。	2前	60	2				○	○							○
○		歯科診療補助論実習Ⅳ	歯科診療補助に必要な知識を学び、技術を習得し理解する。	2後	60	2				○	○							○
○		歯科放射線学	放射線の基本知識とエックス線撮影に際しての診療補助について理解する	2前	15	1		○		○								○
○		臨床検査	各種検査の方法とその結果から得られる情報について理解する	2後	15	1		○		○								○
○		臨地・臨床実習Ⅰ	歯科医療の現場で、担当者の指導のもと見学や実習を行い実践力を身につける。	1後	135	3				○	○							○

○		臨地・臨床実習Ⅱ	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や実習を行い、実践力を身につける。	2前	135	3				○	○	○	○	○
○		臨地・臨床実習Ⅲ	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や実習を行い、実践力を身につける。	2後	225	5				○	○	○	○	○
○		臨地・臨床実習Ⅳ	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や実習を行い、実践力を身につける。	3前	225	5				○	○	○	○	○
○		臨地・臨床実習Ⅴ	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や実習を行い、実践力を身につける。	3前	180	4				○	○			
○		インプラントアシスト	インプラント治療の概念を理解し、アシストワークに必要な知識・技能を身につける。	3前	15	1	○			○		○		○
○		審美歯科	審美歯科の知識・技術・心得・カウンセリングについて学ぶ。	2後	15	1	○			○		○		○
○		チーム医療演習Ⅰ	医療・福祉分野の他職種との相互理解や連携を促し、協働する能力や患者を総合的に診る能力を修得する	2前	15	1	○			○		○		○
○		チーム医療演習Ⅱ	医療・福祉分野の他職種との相互理解や連携を促し、協働する能力や患者を総合的に診る能力を修得する	3前	15	1	○			○		○		○
○		口腔リハビリテーション	高齢者や障害者に対しての口腔ケアの実践方法を身につける。	3前	15	1	○			○		○		○
○		摂食・嚥下機能訓練	摂食嚥下障害について理解し、トレーニング方法を習得する。	3前	15	1	○			○		○		○
○		地域保健活動	地域保健活動の基礎を理解し、歯科衛生士の役割について理解する。	3後	15	1	○			○		○		○
	○	国際教育	国際的な感性を身につけることで、相手を理解する気持ちや自分の事を良く知り、主張できる力を身につける。	2前	15	1	○			○	○			
○		歯科衛生士総合講座	歯科衛生士に必要な知識・技術を総合的に修得する	3後	150	10	○			○	○			○
合計				68	科目		卒業に必要な総時間数				2490単位時間(114単位)			
							取得可能な総時間数				2505単位時間(115単位)			

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学年毎に必修単位数を修得したものは進級となる。卒業時までに必要な科目を履修し(2490時間、114単位)、学校長が適当と認めた者は卒業となる。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	16週